

なでしこ通信



令和4年8月10日発行

vol.181

三重県済生会明和病院 なでしこ 〒515-0312 三重県多気郡明和町大字上野435

TEL・FAX : 0596-53-0010 Eメール : nadeshiko@meiwa-saiseikai.jp ※重症心身障害児(者)に特化しているため旧名称を記載しております



6月の外出行事

6月14日(火)残念ながら、雨で少し肌寒い日となりましたが、バスに乗って明和イオンショッピングセンターへお買い物へ出かけました。バスに乗るなり、ハイテンションのまゆかさんとけいこさんは、体をゆすり大きな声を出し、その声を聞いて大笑いをするえみかさん、雰囲気を楽しんでいるようなゆりかさんと賑やかにバスは出発しました。

目的地に到着し、屋根の下にバスを停めたにも関わらず、風で雨がみんなに降りかかりキャーキャー言いな

らら店の中へ。濡れた体を冷やさないうようひざ掛けを体にかけてながらウインドウショッピング。ケーキの前で目をキラキラとさせて、指差しをして「これにする」とアピールする姿や、「それじゃない」と首を横に振るなどして自分の意志を伝えながら各々の買い物を楽しみました。それぞれ好きなケーキを選び、最後にスターバックスで飲み物を購入。寒かったこともあり、ホットココアや抹茶ラテを頼み、なでしこに到着する頃には、ちょうど良い温度になりました。いつも

なら水分を嫌がる利用者さんも甘い飲み物は、ゴクゴク飲み、それにケーキもペロリと完食し、やっぱり美味しい物を食べる時の口は大きかったです。楽しいお出かけとティータイムでした。

この他にも、6月には、大仏山公園へのお散歩や、海へドライブにも行きました。コンビニでスイーツを購入してなでしこで食べるなど、それぞれの場所で楽しんでもらっていました。

(指導員：中村)



6月8日 大仏山公園にて



ドライブ楽しい～!



電車が見えた!



6月29日 海岸へドライブ



大好きなケーキにテンション上がる～!



買い物イエーイ!



のんびりと散歩

所... なでしこ夏の風物詩 スパタイムが始まったよ!.....

スパタイムの行事が7月13日(水)より始まりました。10月12日(水)まで月に3回程度水曜日に、利用者一人あたり1回行う予定です。

今回のテーマはボタニカルです。ゆったりと入浴を楽しみリラックスした後、スヌーズレンに参加し心地の良い時間が過ごせるように環境を整えました。

入浴時には、昨年度から引き続きすずらんの香りのシャンプー・コンディショナーを使用し、今年度は無添加で肌に優しい植物性のボディソープを取り入れ、日常の入浴では味わえない事をスパタイムでは味わえるように工夫しました。

また、着衣所では、季節の花の天井飾りを飾り付けし、音楽の工夫、室温や部屋の明かりの調節を行いリラックスできるような設定しました。そして、スヌーズレンでは、アロマでの香りや季節の生花を取り入れました。

利用者さんの笑顔やリラックスされている姿や落ち着いている様子、また、興味をもって手を伸ばしたり、光や花に向かって自ら動いていく姿など、利用者さんそれぞれにいろいろな姿がみられています。

これからも、利用者さんそれぞれが感じて体験できるような環境設

定や配慮を行いながら、職員も一緒に楽しみたいです。

(保育士：疇地)



着衣所の飾付け

お部屋でスヌーズレン

所... 訪問教育.....

～いくとさんの訪問教育がスタート!～



友達の写真を見てニコッ!

今年の春に小学校1年生になったいくとさんの訪問教育が始まりました。学校の先生が週に3回なでしこへ授業に来てくれることになりました。

授業初日。緊張感漂う中で始まりました。職員もいくとさんがどのような反応をするのか期待もある反面、心配もしながら見守りました。いくとさんはしっかりと目を開けて授業に集中しています。音楽に合わせて歌っているように「おーおー」と声も出てきました。そして先生がクラスの友達の紹介をするため写真で見せてくれた時です。いくとさんは友達の写真を見てニコッ! 笑顔を見せてくれたのです。その場にいた職員はビックリと嬉しさで大興奮です。それからの授業でも体調が整わず先生が来るまでは目を閉じている

日でも、授業が始まれば目を開けて一生懸命声を出してがんばる姿が見られています。いくとさんの姿を見ていると、1年生になって学校が始まるのを楽しみにしていたんだなと思います。そして友達をたくさん作りたいのかなとも思います。今後、学校の教室とオンラインで繋ぎ友達と会える機会もあるようです。友達と会えるように学校へ登校する準備もしていきたいと思います。楽しみはいっぱいです。学校生活めっちゃ楽しもうね、いくとさん!

(指導員：倉井)

所... 七夕スヌーズレンで思いよ届け!.....

～お楽しみ会 第1弾～



カラフルな光にニコッ!

7月に入り、今年は早々に梅雨も明け、毎日「暑い暑い!」と利用者さんも職員も口癖になりつつあります。そんな中、7月6日(水)に少しでも「涼」とれればと、今年第1回目のお楽しみ会はスヌーズレンを企画しました。スヌーズレンとは、光やアロマ等のおいを使用してSnufflen(クワンクンとあたりを探索する様子)とDoezele(うとうとと気持ちのいい様子)を掛け合わせ

た造語で、ももとは1970年代にオランダで始まりました。

なでしこ内の天窗やカーテン、ブラインドを閉めてリーダーの合図でフロアの電気が一気に消えると、とみこさんは期待した表情で周りを見渡しています。水の入ったビニール袋の中でポワッとミッキーのオブジェが光り出すと、やすひこさんはそれに興味深々で自ら手を伸ばし、グューと掴んでは嬉しそうにされていました。今回のスヌーズレンは音楽に合わせて海の中から始まり、ライオンキングや美女と野獣の世界観に場面を展開させていきました。ライオンキングへの移行前にスクリーンに映した赤い光にかずよしさんは大好きな太陽だと思ったのか目を見

開いて注目されていました。美女と野獣の軽やかなリズムやカラフルな映像にあつこさんは大喜びで声をあげ、素敵なお顔を職員にみせてくれました。

最後の場面は星空をイメージし、みんなで作った天の川を青く照らし織姫と彦星に思いをはせました。皆の願いが叶いますように。

(保育士：堀川)



七夕スヌーズレン

所... 七夕行事.....



七夕の短冊に願い事を書き、葉竹に飾ることが一般的ですね。なでしこでも6月に入ってからの活動時間では、短冊へ願い事を書いたり、色紙で飾りを作るなどして、フロアを華やかに飾りました。利用者さんが一生懸命、のりやはさみを使って作成し、手を動かすことが難しい時には、職員が介助して協力しながら作り上げ

た短冊と飾りです。どれも色や形にそれぞれの個性があつても素敵なものができあがりしました。

7月7日(木)の七夕行事当日は、カラフルなビニール袋で製作した衣装と星飾りの冠を身にまとい、保育士による七夕のお話とじゃんけんゲーム大会を行いました。職員も衣装を身につけ、おりひめ様とひこぼし様に変身!“たなばたじゃんけん、ジャンケンポン!”の掛け声で、じゃんけんサイコロを転がしました。元気な声を出し、体を動かす楽しいイベントになり

ました。みなさんの願いが叶いますように...

(看護師：大谷)



七夕コーデでゲーム大会!

三重県南部における重心医療的ケア児の短期入所の受け入れ.....

～第69回日本小児保健協会学術集会～

6月24日(金)～26日(日)に三重県総合文化センターで開催された『第69回日本小児保健協会学術集会』にて、なでしこが2015年11月から開始した、重症心身障害の人工呼吸器使用児の短期入所による支

援についての経過と実践内容を報告し、若手奨励賞(口演の部)をいただきました。これもひとえに関係者のご指導、利用者さんのご協力のおかげです。

三重県南部には人工呼吸器使用

児が利用できる施設はなでしこ以外にはないため、中には片道100km以上の地域から来られる方もおり、広範囲の地域を視野に入れた対応をしてきました。受け入れ開始して1年後には全体の延べ日数は2倍弱に、

新型コロナ流行前の2019年には3倍弱となり、その内人工呼吸器使用を含む医療的ケア児が全体の8割以上を占めるようになりました。なでしこでは成人の方も今まで通り受け入れ、預かるだけではなく短期入所

中の発達支援やリハビリにも力を入れています。

2021年からは動く医療的ケア児の対応も行い、地域における役割も変化してきています。

まだまだ課題は多くありますが、

地域で重症心身障害児者や医療的ケアを必要とする方々が、当たり前で安心して過ごせる地域作りを目指して、短期入所事業所として求められる役割を果たしていきたいと思ひます。

(指導係長：青木)

